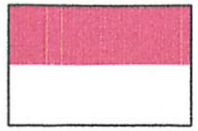
ありがとうございました

神奈川大学「本の架け橋プロジェクト」御中

インドネシア



1万数千もの島からなる国、それがインドネシアです。

東西に非常に長く（5000㎞以上）、日本の約5倍の面積を持つとても広い国で、島の数と同じだけ文化や習慣、言語や種族があると言われる多民族国家です。また、イスラム教徒が全人口の約90%を占めており、世界最大のイスラム人口を有する国でもあります。インドネシアの平均年齢は約29歳と若い力が溢れている国で、街中でもたくさんの子どもたちが走り回っています。インドネシアで走っている車やバイクはほとんどが日本製で、日本は技術大国として知られています。ドラえもんやクレヨンしんちゃん等、日本のアニメも人気で、人々は非常に友好的に接してくれます。

インドネシア国章

国章の翼の羽毛は左右それぞれに17枚ずつ、尾の羽毛は8枚、尾の着け根の羽毛は19枚、首の羽毛は45枚で、独立宣言をした1945年8月17日の数字を表しています。

足には“Bhinneka Tunggal Ika (多様性の中の統一)”というインドネシアの標語がしっかりと握られており、民族や宗教などばらばらではあるが、それでもなお一つという強い気持ちが込められています。

インドネシア概要

国名　：インドネシア共和国
首都　：ジャカルタ（ジャワ島）
総面積：約189万㎢（日本の約5倍）
人口　：約2,5億人（2012年政府統計、世界第4位）
宗教　：イスラム教(88,1%)、キリスト教9,3%(プロテスタント6.1%、カトリック3.2%)、ヒンドゥー教(1.8%)、仏教(0.6%)、儒教（0.1%）、その他(0.1%)
（2010年宗教省統計）
民族　：大半がマレー系（他、ジャワ、スンダ等約300種族）
言語　：インドネシア語（他、ジャワ語、スンダ語等、300語以上の種族語がある）
通貨　：ルピア(Rp.)，Rp.100＝約0.93円
（2014年10月現在）
気候　：熱帯性気候、乾季と雨季がある。
在留邦人数：約16,300人　(2013年10月時点)
日本語学習者数：約872,400人
（2012年JF調査、世界第2位）

生活の様子

街中どこでも、インドネシア国旗がはためいています。

食用として鶏を飼っている家が多く、そこら中で鶏が歩き回っています。

↑一般庶民の交通手段、ベモ。
ベモとは乗合いミニバスのことで、ドアを開けたまま道路を走っています。色や文字によってルートが決められており、そのルート内では好きな所で乗車・降車ができます。
1回約40円。

↑街中では、朝早くから市場が開かれ、食材を買う人々でにぎわいます。果物や野菜、肉、伝統的なお菓子等が売られています。特に果物の種類は豊富で、搾りたてのジュースを約50円で飲むこともできます。

一般庶民の交通手段、ベチャ↑
ベチャは人力自転車で、少しの距離を移動する時によく使います。ベチャは人を運ぶだけでなく、色んな物も運んでくれます。バナナで埋もれているものや、自転車のような大きい物を運んでいるのを目にした時は、頼もしいなと思わされます。雨の時も専用のカッパを身につけて、走っています。値段は交渉性ですが、10分くらいの距離であれば100円程度で乗せてくれます。

インドネシア人の多くは辛い味を好むため、辛い食事が多いです。見た目では辛そうに見えなくても、食べてみたら非常に辛かったということもよくあります。夜になると屋台が出始め、ナシゴレンやミーゴレン等のおいしそうな匂いが漂ってきます。屋台であれば、一食大体150円程度で買うことができます。

国立アイルランガ大学 人文学部 日本研究学科

UNIVERSITAS AIRLANGGA
Excellence with Morality

国立アイルランガ大学は、計13の学部と大学院が設置されている総合大学で、スラバヤ市内に3つのキャンパスを構えています。ここでは、約2万5千人もの学生が日夜、勉学に励んでいます。

数ある学部の中でも、私が所属しているのは人文学部の日本研究学科です。この学科は、2006年に新しく開設された比較的新しい学科です。「日本をはじめとする国際社会への理解と貢献」という理念のもと、現在約220名の学生が当学科で学んでいます。教員は現在11名おり（うち5名は日本に留学中）、全ての教員が日本滞在経験を持っています。その経験を生かしながら、「日本語を使って研究ができる学生」の育成を目指して、日本語だけでなく専門的な知識が身につくよう日々、指導にあたっています。

お問い合わせ
日本研究学科事務室（日本語対応可）
Tel : +62-31-503-5676
Email : japanologyunair@yahoo.com
住所 : Kampus B, Universitas Airlangga
Jl.Dharmawangsa Dalam Selatan,
Surabaya 60286

授業や学生の様子

学生たちは日々、熱心に日本語を勉強しています。それだけでなく、学生会活動も活発に行っており、日本文化祭等が盛大に行われています。また、学外で行われる日本イベントに積極的に参加しています。

お礼とご報告

この度は、面白い漫画をご寄贈いただき、誠にありがとうございました。

私は青年海外協力隊・日本語教師として、2013年8月よりインドネシアに派遣されております、[redacted]と申します。

現在、インドネシアの東ジャワ州・スラバヤ市にある国立アイルランガ大学の日本研究学科に所属し、日々、学生の日本語力向上や現地教員のスキルアップ、学科のレベルアップを目標に活動しています。また、インドネシアでの日本や日本文化への興味・関心をより高めるために、日本国領事館や在留邦人と協力し、さまざまなイベントを通して、日本発信をしています。

こちらの学生が日本語を勉強し始めるきっかけの一つに、「日本の漫画やアニメに興味を持ったこと」があります。なので、日本の漫画が好きな学生はたくさんおり、自分で漫画を描いている学生もいます。また、漫画は卒業論文の研究対象としても用いられます。日本の漫画を手に取れることや新たな物語を読めること、研究対象が増えることに、学生共々、教員一同も本当に喜んでおります。

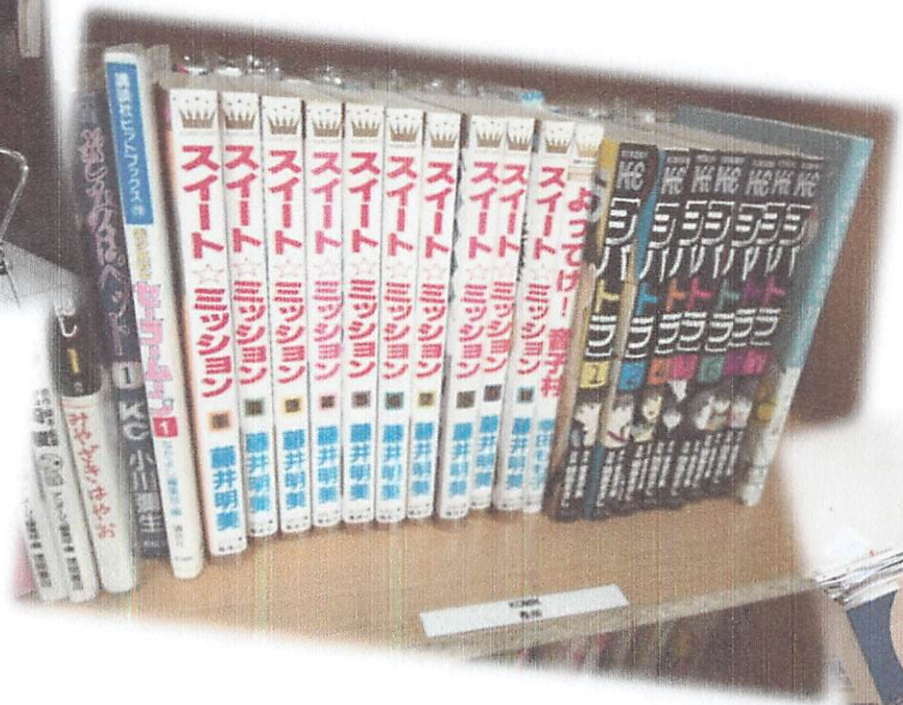
寄贈いただいた漫画は、スラバヤ市内の国立アイルランガ大学日本研究学科の図書館の蔵書とし、大学内イベントやスラバヤ市内イベントでも使用させていただきます。より多くのインドネシアの人々に日本の漫画を読んでもらえるよう、これからも走り回りたいと思います。本当にありがとうございました。

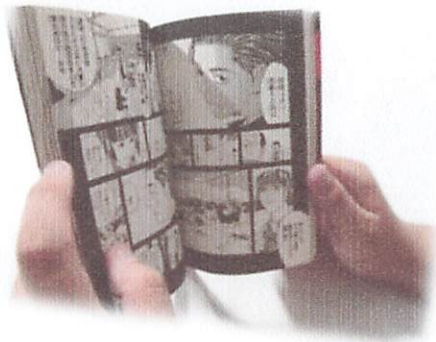
[redacted]

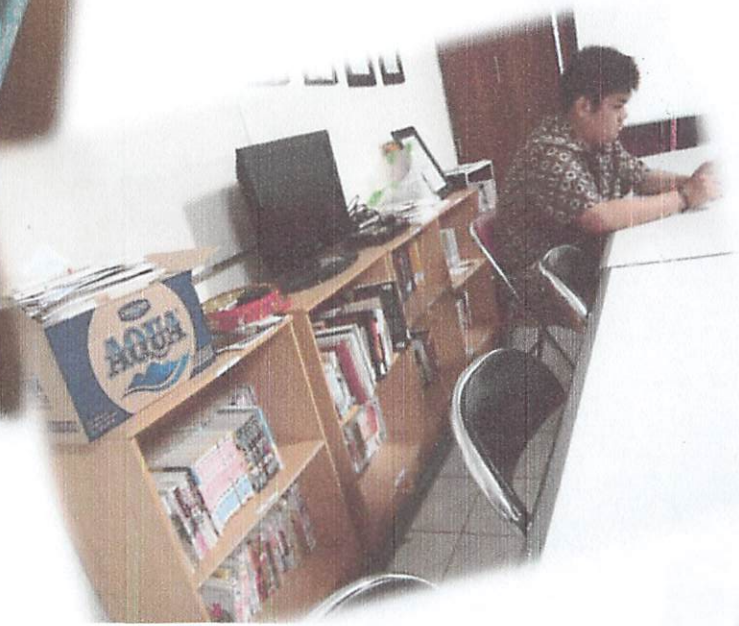
簡単ではありますが、次頁よりインドネシアやスラバヤ市、寄贈先についてご紹介させていただきます。

ご寄贈いただいた物は・・・

日本研究学科の図書館に並べ、当学科の学生に限らず、他学科や他学部の学生も自由に読めるようにします。また、大学内の日本文化イベントやスラバヤ市内で行われる日本関係のイベントで使用したいと思っております。







日本研究学科 学科長より（原文ママ）

拝啓
はじめまして、アイルランガ大学人文学部日本研究学科の学科長の[redacted]と申します。
よろしくお願いいたします。

さて、先日漫画を20冊寄付していただき、同僚の教員をはじめ、学生たちなど、皆で大喜びいたしました。
このような結構なものを頂戴し、心より御礼申し上げます。日本の文化や社会を理解するために、大切に使わせていただきます。また、毎年本学科が日本文化祭を行っておりますが、そのイベントを見学に来る方々に日本文化を紹介するためにも役立たせていただきます。これからも日本文化をより楽しく学べるようにしていきたいと願っております。

今後、インドネシア、特にスラバヤにいらっしゃる機会がありましたら、本学科にも是非お立ち寄りください。お目にかかれる日を心より楽しみにしております。

敬具

平成26年10月　吉日

神奈川大学「本の架け橋プロジェクト」　御中

日本研究学科教員（日本人留学生も含む。中央短髪男性が学科長。）

ありがとう
ございました！^^

ありがとう
ございました

どうも
ありがとう
ございます～

ありがとう
ございました :P

ありがとう
ございました

Terima Kasih Banyak!!

ありがとう
ございました!!

ありがとう
ございました

ありがとう
ございます

ありがとう
ございました

ありがとう

ありがとう
ございました

インドネシアでの日本への興味・関心をより高めるために、
日本文化への理解をより深めるために、
インドネシアの人々と共に日本文化を楽しむために、
ご寄贈いただいた漫画を大切に、たくさん読ませていただきます。
本当にどうもありがとうございました。

お時間があれば、ぜひスラバヤに遊びにお越しください。

ありがとう ございます～

ありがとう
ございました。

青年海外協力隊・日本語教師